

令和3年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A					実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等	
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額	E その他 (一財等)				F コロナ交付金 繰越額
1	「Web有田陶器市」PR等支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている陶磁器関連事業者の事業活動の継続の下支えを行うため、Web有田陶器市のPR等に要する経費を支援する。 ②負担金補助金及び交付金 ③有田商工会議所	R3.4.1	R3.6.30	3,000,000	0	3,000,000	0	0	0	Web有田陶器市のPR等に要する経費を支援。	R3.4.22～R3.5.5の間、Google(GDN)、Twitter、Facebook/Instagramに広告配信を行った。既存の購買層に加えて新規の顧客層へも情報を届ける事ができ、有田焼の購買及び認知の拡大へつなげた。	プッシュ型広告を行ったことにより、地域、性別、年齢、興味関心が確認でき、今後の販路開拓の戦略に役立てられる。
2	事業者持続化支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としてもらうために支援金を給付する。給付対象は、有田町内の事業所であること、主たる収入が事業収入であること(複数収入がある場合は一番金額が大きい収入を主たる収入とみなす)、令和2年中(令和2年1月～12月)の一年間の売上が、令和元年中一年間の売上と比較して10%以上減少していること。(但し、売上には持続化給付金や雇用調整助成金など国県町等からコロナ感染の経済対策支援として給付を受けた収入を含めることとする。) ②負担金補助金及び交付金 ③有田町内で事業を営む事業者	R3.4.1	R4.3.31	23,290,328	0	23,290,328	0	0	0	令和2年中(令和2年1月～12月)の一年間の売上が、令和元年中一年間の売上と比較して10%以上減少した町内事業者に対して支援金を給付。	法人:141件(100,000円/件) 個人事業主:131件(70,000円/件) 合計:272件(2,327,000円)	コロナ禍によって大きな影響を受けている事業者の事業継続を下支えには一定の効果があった。しかし、条件が厳しすぎるとの意見が多数あり、今後、類似の事業を実施する場合、制度設計を工夫する必要がある。
3	「Web有田陶器市」販売促進支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルスの感染拡大を受け、第17回有田陶器市が中止されたことに伴い、経済対策の一環として「Web有田陶器市」(4/29～5/5)を開催する。有田陶器市の公式ホームページ内に特設サイトを設け、全国の焼き物ファン、有田陶器市ファンにインターネットで好みの焼き物を購入してもらう。販売促進のため補助金を交付する。 ②負担金補助金及び交付金 ③Web有田陶器市への参加事業者	R3.4.1	R3.5.31	8,119,383	0	8,119,383	0	0	0	「Web有田陶器市」参加事業者に対し、販売促進を目的として一律50,000円の補助金を交付した。	有田陶器市が昨年度に続き中止となったため、Webでの販売を促すために、162件に対し交付した。	2年連続で有田陶器市が中止となった反面、「Web有田陶器市」を開催し、新たな販売方法、販路開拓が見込めることが期待できる。ただし、高齢者等にとっては不慣れなこともあるため、支援が必要である。
4	未来へつなぐ有田焼支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けている有田焼関連事業者の事業活動の継続を後押しし、コロナ禍に対応した未来に向けた新たな取組を支援するため補助金を交付する。 ②負担金補助金及び交付金 ③コロナ禍に対応した新商品の開発、販路開拓、事業環境の整備、Webを活用した販売等に取り組む有田焼関連事業者等	R3.9.17	R4.3.31	6,912,000	0	6,912,000	0	0	0	有田焼関連事業者の事業活動の継続を後押しし、コロナ禍に対応した未来に向けた新たな取組を支援するため補助金を交付。	・新商品開発補助金 対象:町内に事業所を有する法人又は個人 補助金申請件数:49件(うち採択37件、不採択12件) 補助金総額:5,912,000円 ・有田産品に関する事業 事業主体:一般社団法人有田観光協会 補助金総額:1,000,000円	新商品開発補助金については、予算限度額以上申請があり、不採択が12件あった。次回以降、予算総額の増額を検討したい。
5	有田町飲食店応援キャンペーン事業	商工観光課	①新型コロナウイルスの感染拡大を受け、飲食店での会食等が自粛される中、町内飲食店での消費喚起を図るため、応援キャンペーン事業を実施する。 ②負担金補助金及び交付金 ③有田観光協会	R4.1.4	R4.3.31	10,099,201	0	10,099,201	0	0	0	町内飲食店での消費喚起を図るため、応援キャンペーン事業を実施。10%割引分を補助金として交付。	参加店舗:63店舗 期間:令和3年7月19日～令和3年8月27日(40日間) 10%割引部分:9,267,243円	キャンペーン期間の参加店舗の総売り上げは1億円弱あり、新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた消費を促すことができた。また、参加店舗や、町民などからの評判も非常に良かった。
6	有田町誘客イベント開催支援事業	商工観光課	①コロナ禍における地域外からの誘客促進を図ることを目的に、新型コロナウイルス感染症の感染予防のための必要な対策を講じた上で開催するイベントに対し補助金を交付する。 ②負担金補助金及び交付金 ③有田商工会議所、有田観光協会	R3.10.1	R4.1.31	2,462,000	0	2,462,000	0	0	0	有田商工会議所、有田観光協会が、新型コロナウイルス感染症の感染予防のための必要な対策を講じた上で開催するイベントに対し補助金を交付。	150,000人の来客(令和2年度より18%増、※令和元年度は154,000人)	コロナ禍の開催ということで、来客の分散化を図るため、開催期間を拡大するとともにプレ期間・メイン期間に分けて実施。CM等の情報発信の強化が奏功し、コロナ禍前の水準に迫る来客があった。しかし、意図した分散化は叶わず、メイン期間に来客が集中する結果となった。

令和3年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A					実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等	
						総事業費	国庫補助額	コロナ交付金 充当額	起債額	その他 (一財等)				コロナ交付金 繰越額
7	有田町まちなか賑わいづくり支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている商店街や各種団体等が、地域外からの誘客を図るとともに、まちなかにおける賑わいづくりを目的に、新型コロナウイルス感染症の感染予防のための必要な対策を講じた上で開催するイベント等に対し補助金を交付する。 ②負担金補助金及び交付金 ③コロナ禍に対応した誘客促進、賑わいづくりに取り組む商店会、各種団体、グループ等	R3.5.1	R3.8.31	2,437,000	0	2,437,000	0	0	0	コロナ禍に対応した誘客促進、賑わいづくりに取り組む商店会、各種団体、グループ等に対し補助金を交付。	交付件数:14件 交付額合計:2,437,000円(補助対象経費の3/4以内の額とし、上限200,000円)	申請された事業の大半が秋の陶磁器まつり期間中に開催され、同イベントとしてはコロナ禍前の水準に迫る来場者数につながった。 また、本補助金を利用して実施された事業の反響が良く、補助金利用後も継続的に実施されるなど、まちなかの活性化にも貢献できた。
8	新型コロナウイルス感染症対策肉用牛肥育農家生産支援事業	農林課	①コロナによる経済状況悪化に伴い、肥育素牛が値上がりしているため、肥育牛農家の経営を継続させる緊急支援 ②肥育素牛導入経費 ③R3.1.1～R3.12.31までに肥育素牛を導入した者でその導入した頭数を対象	R3.12.1	R4.2.28	6,720,000	0	6,720,000	0	0	0	肥育牛農家の肥育素牛導入経費に対し導入等数に応じて補助金を交付。	令和3年1月から令和3年12月までの間、町内の子牛を導入した肥育農家に対し、全部で672頭×10,000円の交付を行った。対象者(肥育牛農家)の申請率は100%。	対象者は全員申請を行い、経営継続の支援を図ることができた。 なお、飼料代の高騰等情勢不透明な中経営継続の持続を続けることが課題
9	新型コロナウイルス感染症対策農業持続強化支援事業	農林課	①コロナによる経済状況悪化に伴い、米価下落による経営状況が悪化している農業者の経営継続支援及び農作物の安定生産のための緊急支援 ②米の出荷に要する経費 ③令和2年産米のうち主食用等として出荷販売を行った農家でその出荷袋数	R4.1.4	R4.3.31	1,658,160	0	1,658,160	0	0	0	農業者の経営継続支援及び農作物の安定生産のための緊急支援として、米の出荷袋数に応じて補助金を交付。	申請者数:92人 交付金交付キロ数:231,150kg 事業費合計:1,658,160円	米の安定生産に向けた支援ができた点は評価できるが、米価下落が続いているため、継続的な支援が必要。
10	保育対策事業費補助金	子育て支援課	(保育対策総合支援事業(保育環境改善等事業)) ①町内保育園・認定こども園において、児童等の感染予防を行うため、加湿器、空気清浄機等の備品や消毒液・ハンドソープ等の消耗品を購入する。 ②保育対策総合支援事業 需用費(10)町立保育園2園の消毒液・ハンドソープ等 備品購入費(17)町立保育園2園の加湿器、空気清浄機の購入補助金(18)私立保育園・認定こども園6園に対する補助金 ③事業費 国庫補助1/2、町1/2の町負担分を対象とする ・町立くわこぼ保育園 389,169円 ① (消耗品費155,169円、加湿器5台/234,000円=389,169円) ・町立おおやま保育園 262,576円 ② (消耗品費158,976円、空気清浄機2台/103,600円=262,576円) ・私立保育園・認定こども園補助 1,900,000円 ③町立保育園2園、私立保育園2園、私立認定こども園3園	R3.11.1	R4.3.31	2,673,559	1,336,000	1,337,559	0	0	0	町内の保育園、認定こども園、幼稚園における、感染症予防のための備品・消耗品購入に対し補助金を交付。	町内の保育所・認定こども園において、消毒液や手袋、ウエストポーチ等の備品を購入した。町立園では、くわこぼ保育園で加湿器、おおやま保育園で空気清浄機をそれぞれ令和3年8月に購入した。 事業によって環境を整え、園の職員で日々の消毒をはじめとした感染対策を徹底することができ、オミクロン株の影響による感染拡大の場面はあったが、軽減をはかることができた。 加湿器購入(くわこぼ保育園) 234,000円 空気清浄機購入(おおやま保育園) 103,600円 町立園消耗品購入 314,145円 私立園への補助 1,900,000円	今後も感染拡大は散発的に発生すると思われ、園内の消毒についても引き続き環境を整え取り組む必要があると思われるため、感染状況や政策をみながら、支援を継続していく必要があると思われる。
11	保育対策事業費補助金	子育て支援課	(保育対策総合支援事業(保育所等におけるICT化推進事業)) ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育の周辺業務等に係るICT等を活用した業務システムを導入を支援する。 ②業務のICT化等を行うためのシステム導入補助金 ③私立園3園	R3.11.1	R4.3.31	2,250,000	1,500,000	750,000	0	0	0	保育の周辺業務等に係るICT等を活用した業務システムの導入経費に対し補助金を交付。 私立園への補助 2,250,000円	事業を活用し、園において新システムを令和4年1月に導入。保育従事者の負担軽減や、園内及び保護者に対してより容易で確実な情報共有をはかることができるようになった。	導入した園では、保育従事者の負担軽減をはかるため、システムの機能を十分に活用することができるよう、園での取り組みが必要。 導入されなかった園においても、保護者のコミュニケーション機会の減少などの導入デメリットの代替案確保、現場職員の業務効率化への理解をすすめていく必要があると考えられる。

令和3年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A						実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等
						総事業費	国庫補助額	コロナ交付金 充当額	起債額	その他 (一財等)	コロナ交付金 繰越額			
12	新型コロナウイルスワクチン接種協力金支給事業	健康福祉課	①新型コロナウイルスワクチンの個別接種を実施する医療機関の接種体制の充実 ②協力金 ③新型コロナウイルスワクチン個別接種実施医療機関	R3.8.1	R3.9.30	5,000,000	0	5,000,000	0	0	0	新型コロナウイルスワクチンの個別接種を実施する医療機関の接種体制の充実のため、協力金(50万円/1医療機関)を支給。	ワクチン接種開始前までに、迅速に協力金を支給できたことにより、個別接種の体制を整えることができ、国からの度重なる接種回数の増加指示にも対応することができた。	医療機関での個別接種については、通常診療に優先して対応していただいた。ワクチン用の冷蔵庫等の設備の見直しなど接種体制を整えていただいた。
13	新型コロナウイルスワクチン接種交通補助事業	健康福祉課	①新型コロナウイルスワクチンの接種にあたり、移動手段がないために接種機会を逃すことのないよう、交通手段の確保を図る。 ②委託料 ③新型コロナウイルスワクチンの被接種者の送迎を行うタクシー会社			1,706,440	0	1,706,440	0	0	0	新型コロナウイルスワクチン接種時に利用したタクシー料金のうち、利用者負担(200円/片道)を差し引いたタクシー利用料金を町が負担。	利用者数延べ1,599人。運賃1,973,240円から利用料266,800円を差し引いた分を、タクシー会社へ補助した。	この事業を行ったことで、交通手段がないことを理由にワクチン接種を断念する住民を減らすことができ、ワクチン接種率の向上に寄与できた。
14・29	西有田中学校屋内運動場改修事業	学校教育課	① 大雨災害の激甚化により避難者が急増するとともに、新型コロナウイルス感染防止が求められる中で、災害時の避難場所である西有田中学校屋内運動場が雨漏りのため避難場所として開所できない状況である。雨漏り原因を調査して、屋根の改修工事を行う。住民のための避難場所としての利用を可能とし、3密対策として災害避難時の空間を維持確保する。 ② ・10-3-1-0004-12節3-2 屋内運動場屋根改修建築工事監理業務 ・10-3-1-0004-14節1-1 屋内運動場屋根改修建築工事請負費 ③ 対象施設 西有田中学校屋内運動場			37,237,000	0	28,437,645	0	8,799,355	0	西有田中学校屋内運動場屋根の雨漏り原因の調査・改修工事を実施。住民の避難場所としての利用を可能とし、3密対策として災害避難時の空間を維持確保。	西有田中学校屋内運動場の屋根の雨漏り修繕をしたことで、避難場所としての整備ができ、住民のための避難場所としての利用が可能となった。	町内にある複数の避難場所の一つとして、これから安心して活用できる。
16	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	①学校の教育活動継続に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染対策のための経費。 ②賃借料、衛生管理備品、消耗品、改修工事 ③対象者 町内6小中学校			7,100,724	2,666,000	4,434,724	0	0	0	町内6小中学校における、児童・教職員の感染症対策のため、備品購入・消耗品購入・修学旅行利用バスの増便等を実施。	消毒用消耗品類や非接触型体温計、パネル等を購入したことで、安心して学校の教育活動を継続することができた。また、修学旅行についてはバスの増便に交付金を充てたことで、3密を防ぎ6校とも無事に社会学習を行うことができた。	学校長の判断で柔軟な予算化ができたことはよかった。
17	自治公民館感染症対策事業	総務課	① 地区管理の集会場における感染症対策の強化 ② 物品購入費 ③ 各区の自治公民館			789,404	0	789,404	0	0	0	地区集会場で使用する、消毒液・ペーパータオル等を購入し、地区に配布。	2回に分けて、各自治公民館(44箇所)に、手指消毒液(1ℓ・噴射ポンプ付)、消毒液詰替え液(5ℓ×2本)、給食用アルコール(5ℓ)、手袋、ペーパータオル等を配布した。集会や会合時に手指の消毒などを徹底してもらったことで、コミュニティの醸成が図れた。	現在のところ、地区公民館での集会等においてクラスターが発生したとの報告はない。コロナ禍が長期化し、感染が拡大しているため、継続的なコロナ対策が必要と考えられる。
18	公共施設感染症対策事業	総務課	①目的・効果 泉山体育館、文化体育館、福祉保健センター、ゆいたん、体育センターは、災害時の避難所に指定されており、感染予防対策として、非接触かつ迅速に発熱者を検知することにより、新型コロナウイルス感染拡大を防止する。 顔認証型AIサーマルカメラによる離れた距離からの体温チェックやマスク未着用への音声案内を行い、安全な距離、空間を確保しつつ感染拡大防止の環境整備を行う。 ②交付金を充当する経費内容(予算費目(節)) 備品購入費 2,122千円 計 2,122千円 ③事業の対象 泉山体育館、歴史民俗資料館、東出張所、文化体育館、福祉保健センター、ゆいたん、庁舎、体育センター、予備(2台)の10台			1,907,400	0	1,907,400	0	0	0	泉山体育館、歴史民俗資料館、東出張所、文化体育館、福祉保健センター、ゆいたん、庁舎、体育センターにサーマルカメラを整備。	購入したサーマルカメラは、泉山体育館、歴史民俗資料館、東出張所、文化体育館、福祉保健センター、ゆいたん、庁舎、体育センター等に設置し、避難者の検温に利用した。避難所(公共施設)入口にて発熱者を把握することで、避難所内での感染拡大防止対策が図れた。	現在ところ、町が開設した避難所においてクラスターが発生したとの報告はない。検温により、避難時時点での体温は計測できるが、発熱していない陽性者が避難してきた場合は感染の拡大につながる可能性はある。

令和3年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A						実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等
						総事業費	国庫補助額	コロナ交付金 充当額	起債額	その他 (一財等)	コロナ交付金 繰越額			
19	社会教育施設感染症対策事業	生涯学習課	①目的・効果 生涯学習センターや公民館、図書館などの公共施設は、日常的に不特定多数の利用がある(図書館及び講座やサークル活動等)。また、生涯学習センター南館及び婦人の家は災害時の避難所にも指定されており、感染予防対策として、非接触かつ迅速に発熱者を検知することにより、新型コロナウイルス感染拡大を防止する。 顔認証型AIサーマルカメラによる離れた距離からの体温チェックやマスク未着用への音声案内を行い、安全な距離、空間を確保しつつ感染拡大防止の環境整備を行う。 ②交付金を充当する経費内容(予算費目(節)) 備品購入費 1,122千円 計 1,122千円 ③事業の対象 生涯学習センター南館、同北館、東図書館、西図書館、婦人の家、西公民館の6台			1,115,400	0	1,115,400	0	0	0	生涯学習センター南館、同北館、東図書館、西図書館、婦人の家、西公民館にサーマルカメラを整備。	発熱者等を事前に検知でき、感染拡大を未然に防止できるようになった。 新型コロナウイルス感染拡大の中、事前に発熱者等を検知することで町民の社会教育・社会体育など活動を維持できた。 また、施設の中には災害時の避難所にも指定されており、感染予防対策として、非接触かつ迅速に発熱者を検知することにより、新型コロナウイルス感染拡大を防止できた。 顔認証型AIサーマルカメラによる離れた距離からの体温チェックやマスク未着用への音声案内を行い、安全な距離、空間を確保しつつ感染拡大防止の環境整備が実現できた。	新型コロナウイルス感染拡大を未然に防止するため、発熱者等を事前に検知し、町民の活動を維持したい。
20	中小企業等応援金事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を下支えし、アフターコロナに向けた事業継続の一助となるよう応援金を交付する。対象は、有田町内の事業所であること、主たる収入が事業収入であること(複数収入がある場合は一番金額が大きい収入を主たる収入とみなす)、令和3年1月から9月までの任意の連続した6月の売上が、令和元年中または令和2年中の年間売上の2分の1の売上と比較して10%以上減少していること。また、令和2年2月以降に開業した事業者についても別の計算式を用い、交付の可否を判定し、幅広に対応する。 ②負担金補助金及び交付金 ③有田町内で事業を営む事業者			40,797,795	0	40,797,795	0	0	0	令和3年1月から9月までの任意の連続した6月の売上が、令和元年中または令和2年中の年間売上の2分の1の売上と比較して10%以上減少した町内事業者に対し、応援金を支給。	法人:203件(100,000円/件) 個人事業主:292件(70,000円/件) 合計:495件(40,740,000円)	アフターコロナに向けて事業の継続を図る事業者の下支えには一定の効果があった。前回の類似事業の課題であった制度設計についても改善し、苦情はほとんどなかった。
21	スマートロック及び施設予約システム導入事業	生涯学習課	①目的・効果 町内体育施設の予約及び鍵の受け渡しを行う際には窓口での対応が必要であるが、スマートロック及び施設予約システムを導入することにより窓口での対応が不要となり新型コロナウイルス感染拡大防止のため業務を改善する。 ②交付金を充当する経費内容 役務費、委託料、工事費 ③積算根拠 インターネット通信費 6,000円×3ヶ月=18,000円 スマートロック及び施設予約システム導入委託料 3,440,000円 体育施設ドア取替3ヶ所 1,750,000円 スマートロック新規取付工事 142,000円 体育施設Wi-Fi設備構築工事 650,000円 ④対象施設 泉山体育館、文化体育館、体育センター 対象者 対象施設の施設利用者	R4.1.4	R4.3.31	5,453,470	0	5,453,470	0	0	0	泉山体育館、文化体育館、体育センターにおいて、スマートロック及び施設予約システムを導入。	3施設(泉山体育館、文化体育館、体育センター)にスマートロック及び施設予約システムを導入した。	定期的に3施設を利用している利用者の73.2%が施設予約システムを利用し、窓口での申請受付件数が59.4%に減少している。 今後スマートロック及び施設予約システムを導入する施設の拡大、利用者増加のための周知を図っていく。

令和3年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A					実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等	
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額	E その他 (一財等)				F コロナ交付金 繰越額
22	歴史と文化の森公園管理事業 森の博記念堂ビルマルチ空調 機更新工事	生涯学習課	①目的・効果 現在のパッケージ空調機は既に製造中止に なっており、室内機および室外機などの構成部 品等も生産終了になっているため、故障した際 の補修が難しい状況となっている。 大雨災害の激甚化により避難者が急増すると ともに、新型コロナウイルス感染防止が求めら れる中で、森の博記念堂は災害時の避難所に 指定されており、住民のための避難場所とし ての利用を可能とし、3密対策として災害避難時 の空間を維持確保する。 ②交付金を充当する経費内容(予算費目 (節)) 工事請負費 7,029千円 (10-4-3-0001-14-1-001 森の博記念堂ビル マルチ空調機更新工事) ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) 歴史と文化の森公園・森の博記念堂			7,029,000	0	7,029,000	0	0	0	歴史と文化の森公園・森の博 記念堂のビルマルチ空調機を 更新。避難場所としての利用を 可能とし、3密対策として災害 避難時の空間を維持確保。	当施設は災害時の避難所に指定されており、新 型コロナウイルス感染防止が求められる中、大雨 災害の激甚化により避難者が急増するとともに、 住民のための避難場所としての利用を可能とし、 3密対策として災害避難時の空間を維持確保でき た。	大雨災害等の激甚化により避難 者が急増した際、住民のための避 難場所として3密対策を行いなが ら避難時の空間を維持確保しなけ ればならない。
23	文化芸術振興費補助金	文化財課	(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整 備事業) (有田町歴史民俗資料館東館・有田焼参考館 空調設備改修事業) ①有田町歴史民俗資料館に併設している有田 焼参考館の空調が故障し、「博物館における 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライ ン」を踏まえた感染症防止対策の推進が困難 なため、空調機器を改修して展示環境を向上さ せる。 ②工事請負費 ③有田町歴史民俗資料館東館・有田焼参考館			2,505,800	1,252,900	1,252,900	0	0	0	有田町歴史民俗資料館東館・ 有田焼参考館の展示環境の向 上のため、故障した空調機器 を改修。	空調を改修することで、今まで出来なかった有田 焼参考館の温湿度管理を行うことができるよう になり、館内でのマスク着用の要請や、適切なタイ ミングでの換気といったコロナ対策が安全に図れる ようになった。	空調機器が増加した上、燃料費高 騰を受けて、電気使用量の増加が 見込まれるため、節電対策が必要 と思われる。
24	基幹公共交通持続化支援事業	まちづくり課	①新型コロナウイルスの影響により、利用者が 著しく減少し厳しい経営を迫られ、今後も利用 状況の回復が見込めない状況にある中で、通 勤、通学など生活路線として不可欠な松浦鉄 道の運行を維持する支援金を沿線自治体と共 同で給付することで、安定的かつ持続的な運 行を維持する。 ②基幹公共交通持続化支援金 ③松浦鉄道株式会社			4,220,000	0	4,220,000	0	0	0	通勤、通学など生活路線として 不可欠な松浦鉄道の運行を維 持する支援金を沿線自治体と 共同で給付。		
25	飲食店を活用した地域活性化事 業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大が多 少の落ち着きを見せている中、飲食店事業者 への支援をすることにより、町内の消費喚起を 図り、かつ飲食店関連事業者への波及効果を 生み出すため、町内の登録飲食店の利用で1 0%の割引を提供し、割引分を有田町が負担 する。 ②負担金補助金及び交付金 ③有田観光協会			14,697,191	0	14,697,191	0	0	0	町内飲食店での消費喚起を図 るため、応援キャンペーン事業 を実施。 10%割引分を補助金として交 付。	参加店舗:56店舗 期間:令和4年1月14日～令和4年3月21日(67日 間) 10%割引部分:13,515,383円	キャンペーン期間の参加店舗の総 売り上げは1億3千万円ほどあり、 飲食店を通じ経済活性化につな がった。また、参加店舗や、町民な どからの評判も非常に良かった。
26	有田中部小学校屋内運動場改 修事業	学校教育課	① 大雨災害の激甚化により避難者が急増す るとともに、新型コロナウイルス感染防止が求 められる中で、災害時の避難場所である有田 中部小学校屋内運動場の、アリーナの電気を 固定式のLEDに改修することで、明るさと安全 性を確保し、3密対策として災害避難時の空間 を維持確保する。 ② 10-2-4-0002-14-1-1 屋内運動場照明 改修工事 ③対象施設 有田中部小学校屋内運動場			4,952,200	0	4,952,200	0	0	0	有田中部小学校屋内運動場 の、アリーナの電気を固定式 のLED化を実施。明るさと安全 性を確保し、3密対策として災害 避難時の空間を維持確保。	災害時の避難場所である有田中部小学校屋内運 動場のアリーナの電気を固定式のLEDに改修し たことで、明るさと安全性を確保することができ た。	町内にある複数の避難場所の一 つとして、これから安心して活用で きる。

令和3年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A					実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等	
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額	E その他 (一財等)				F コロナ交付金 繰越額
27	大山小学校屋内運動場改修事業	学校教育課	① 大雨災害の激甚化により避難者が急増するとともに、新型コロナウイルス感染防止が求められる中で、災害時の避難場所である大山小学校屋内運動場の、アリーナの電気を固定式のLEDに改修することで、明るさと安全性を確保する。また、玄関部に雨漏りがあるため合わせて修繕を行い、3密対策として災害避難時の空間を維持確保する。 ②・10-2-4-0003-14-1-1 屋内運動場照明改修工事 ・10-2-4-0003-14-1-2 体育館玄関雨漏り修繕工事 ③対象施設 大山小学校屋内運動場			5,999,400	0	5,999,400	0	0	0	大山小学校屋内運動場の、アリーナの電気を固定式のLED化及び玄関雨漏り修繕を実施。明るさと安全性を確保し、3密対策として災害避難時の空間を維持確保。	災害時の避難場所である大山小学校屋内運動場の、アリーナの電気を固定式のLEDに改修したことで、明るさと安全性を確保することができた。また、玄関部分の雨漏り修繕をしたことで、避難者の通路を確保することができた。	町内にある複数の避難場所の一つとして、これから安心して活用できる。
28	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	健康福祉課	①新型コロナウイルスの感染者急増に伴い、自宅療養を余儀なくされる方が発生する事態に備え、自宅で酸素濃度を把握できるよう、貸出用の機器を準備する。 ②パルスオキシメーターを購入する。 ③新型コロナウイルス患者で、自宅療養を余儀なくされた者			158,400	0	158,400	0	0	0	自宅療養者が自宅で酸素濃度を把握できるよう、貸出用のパルスオキシメーターを購入。	自宅療養者の急増に対処するため準備したが、幸い町内では県や医療機関が所持するパルスオキシメーターでまかなえたため、貸出実績はなし。	未だ収束が見えない状況の中、今後もいつ必要になっても貸し出せる体制を継続していく。

令和2年度(繰越) 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

(資料4)

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A						実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額	E その他 (一財等)	F コロナ交付金 繰越額			
記入例	オール有田で応援すっ券(商品券)発行事業	まちづくり課	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている中、町民が新たな生活様式に対応していくための生活支援及び町内における消費喚起を通じた地域経済の活性化を図るもの。 ②商品券発行に要する経費(印刷費、郵送料、換金等委託料、商品券発行原資等)を交付対象経費とする。 ③令和2年7月1日時点の住民登録者	R2.8.1	R3.3.31	101,889,236	0	101,889,236	0	0	0	生活支援及び町内消費喚起を通じた地域経済の活性化のため商品券の交付	対象者(町民)による商品券の換金率98.2%	町民全員に商品券を交付し、98.2%の換金がなされたことは効果があった。取扱事業者に対しアンケート調査を実施した結果、売上及び売上以外への効果はほぼ全ての事業所で見られ、新規顧客の獲得に繋がった。なお、事業の効率性を上げることが課題。
10	STEAM教育推進事業	まちづくり課	①子どもたち一人ひとりの知の創造性を育むという観点で重要なアプローチであるSTEAM教育に先駆的の取り組みもの。新たな時代に相応しい教育を実現するために、GIGAスクール構想を推進する中で、教育コンテンツや研修機会の充実を図る。 ②協議会の運営費、ワークショップ等の開催費 ③町内小中学生	R2.10.1	R4.3.31	4,037,000	0	3,993,000	0	44,000	0	町内小学校の児童を対象にしたワークショップ「ARITA STEAMDAY」を開催した。	○令和3年3月 ・有田町がSTEAM教育を推進していくことについて記者発表を実施。 ・専門家を招聘し、STEAM教育推進に関するシンポジウムを実施。 ○令和4年3月 ・有田町職員向けSTEAM教育研修を実施(Eラーニング形式) ・小中学生向けSTEAM教育ワークショップを開催。プログラミングコース、動画作成コース合計14名参加。	有田町はデジタル化が進む未来において、自らの思考及び発想で課題を解決することができる人材育成を目指すべく、STEAM教育を推進しており、当事業により町内外に向け、積極的な推進の機運の醸成につなげた。
11	サテライトオフィス創出事業	まちづくり課	①空き家となった古民家が増加している中で、こういった空き家を改修することで、都市部の事務系企業の地方への経営拠点の分散に対応できる施設を整備するもの。リビングシフトの促進、雇用創出、強靱かつ自律的な地域の社会経済構築といった効果が期待される。 ②サテライトオフィス創出・活用業務委託料、サテライトオフィス創出事業補助金 ③町内空き物件所有者	R2.9.14	R4.3.31	5,740,000	0	5,740,000	0	0	0	サテライトオフィス創出・利用促進業務委託事業を実施し、県外企業に対し、サテライトオフィスとして活用可能な物件を紹介。空き家をサテライトオフィスとして活用できるよう改修する費用に対し補助金を交付。	サテライトオフィス創出・利用促進業務委託事業を実施し、県外企業(5社)に対し視察会を実施。空き家となった古民家1件に対しサテライトオフィス創出事業補助金(2,000千円)を交付した。	複数の県外企業が空き家となった古民家に興味をもち視察会を行ったこと、補助金を交付し実際に古民家をサテライトオフィスとして活用できるように改修したことは成果として挙がるが、今後は実際にサテライトオフィスとして進出する企業の誘致が課題。
23	上有田駅観光トイレ改修事業	商工観光課	①上有田駅は駅舎も非常に趣のある風合いを保ち、また一部をカフェとして活用するなど、駅を訪問された方に憩いの場を提供している。しかしながら、トイレは汲み取り式の和式トイレとなっており、内山地区伝統的建造物群保存地区への玄関口のトイレとしては相応しくなく、観光客に衛生的かつ快適な手洗い環境を提供するために改修を行う。 ②トイレ改築のための工事請負費 ③JR上有田駅観光トイレ	R2.9.14	R3.12.28	6,793,100	0	6,793,100	0	0	0	内山地区伝統的建造物群保存地区への観光の玄関口である上有田駅観光トイレを観光客が安心安全・衛生的かつ快適に利用できるよう改修。	有田町の観光の玄関口である、上有田駅観光トイレを様式化し、改築を行ったことにより、陶器市期間など、観光客が安心、安全かつ衛生的に利用できるようになった。 また、非常に歴史を感じられる風合いを残すことにより、上有田駅の雰囲気ともマッチし、新たな観光スポットとしての価値を創出することができた。	通常のイベント時は問題ないが、陶器市規模のイベントではトイレの数が足りないため、仮設トイレを設置するが、衛生管理が課題。
25	有田ダム入口トイレ改修事業	農林課	①有田町と伊万里市、武雄市との市町境に位置する黒髪山は、標高518mの山頂から有明海、大村湾などを一望でき、長年、麓の有田ダム周辺とともに自然を満喫できるハイキングコースとして人気を博している。地域の自然を楽しむ新しい旅行スタイルの確立を目的として、トイレ改修事業を実施する。登山口の一つに設置している有田ダム入口トイレは汲み取り式の和式トイレであり、これを水洗化、および洋式化することにより、登山客に衛生的かつ快適な手洗い環境を提供し、更なる登山客の誘客を目指す。 ②トイレ改修のため工事請負費 ③有田ダム入口公衆トイレ	R2.10.1	R4.3.31	5,324,000	0	5,324,000	0	526,000	4,974,000	登山客や観光客が安心安全・衛生的かつ快適に利用できるよう有田ダム入口公衆トイレを改修。	登山客や観光客、地域住民に安心安全・衛生的かつ快適なトイレを利用していただけるようになった。	水洗化・洋式化したことで、利便性の向上が図れた。 今回の改修は、水洗化、便器の取替えを中心に行った。建物は以前のものをそのまま利用しているため、屋根部分など今後改修が必要な部分もある。